

J R 四国労組ニュース

2025年2月7日（No.17） 発行責任者／大谷 清 編集責任者／和田 庄平

第38回定期本部委員会開催!!

純ベア 12,000円 要求へ!
労働時間の短縮及び制度改善



J R四国労組は2月7日（金）、香川県宇多津町「ホテルアネシス瀬戸大橋」にて第38回定期本部委員会を開催。本部委員及び特別本部委員、傍聴者が集結し、来賓含め約100名出席のもと「安全・安定・安心輸送の確立」「2025春季生活闘争」「政策課題解決」「参議院議員選挙勝利」など当面の取り組みについて満場一致で決定した。

冒頭、執行部を代表し挨拶に立った大谷執行委員長は、日夜、職場で奮闘する組合員に敬意を表するとともに、「安全確保、技術継承に欠かせない『人財』の確保は最大の課題。持続可能な体制構築をすべく、J R四国労組版労働政策提言『ユニオンビジョン2023』を活用し、協議を加速させる」と述べ、「今春闘を通じ、『人件費はコストではなく成長投資』の考えのもと持続的な賃上げを求めるとともに、多様な働き方の実現、55歳以降の給与水準の在り方等『誇りを持ち安心して働き続けることのできる環境づくり』を全力で推し進める」と決意を語った。



大谷執行委員長

議事では、執行部より定期大会以降の経過、当面の取り組みを提起。各支部・各専門部会・青年女性会議を代表する11名の本部委員・特別本部委員より春闘方針、人財の確保、働き方の改善、四国新幹線の実現等に関する質疑を受けた後、すべての議案が満場一致で可決され、最後に2025春季生活闘争を闘い抜き、組合員の明るい未来をつくりあげるべく、大谷執行委員長の「団結ガンバロー」で定期本部委員会を締めくくった。

以上

**2025春季生活闘争、四国新幹線実現に向けた署名活動等
当面の活動方針を満場一致で決定!!**